

iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

目次	3
改訂履歴	5
1. 概要	6
2. システム構成	6
3. GOT について	7
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	7
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定	7
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定	7
4. 画面仕様	8
4.1 表示言語	8
4.2 画面遷移	8
4.3 画面説明	11
4.3.1 iQSS メニュー(B-30100)	11
4.3.2 iQSS バックアップ(B-30101)	12
4.3.3 iQSS バックアップ設定(B-30102)	14
4.3.4 iQSS バックアップ進捗(B-30103)	16
4.3.5 iQSS リストア(B-30104)	18
4.3.6 iQSS リストア設定(B-30105)	20
4.3.7 iQSS リストア進捗(B-30106)	21
4.3.8 アラームリセット(W-30001)	22
4.3.9 言語設定(W-30002)	23
4.3.10 時計設定(W-30003)	24
4.3.11 データ削除確認ダイアログ(W-30100)	25
4.3.12 通知ダイアログ(W-30101)	26
4.3.13 実行確認ダイアログ(W-30102)	27
4.3.14 バックアップ設定(AnyWireASLINK)(W-30110)	28
4.3.15 バックアップ設定(CC-Link)(W-30111)	29
4.3.16 バックアップ設定(Ethernet)(W-30112)	30
4.3.17 バックアップ進捗(AnyWireASLINK)(W-30113)	31
4.3.18 バックアップ進捗(CC-Link)(W-30114)	32
4.3.19 バックアップ進捗(Ethernet)(W-30115)	33
4.3.20 リストア設定(AnyWireASLINK)(W-30116)	34
4.3.21 リストア設定(CC-Link)(W-30117)	35
4.3.22 リストア設定(Ethernet)(W-30118)	36
4.3.23 リストア進捗(AnyWireASLINK)(W-30119)	37
4.3.24 リストア進捗(CC-Link)(W-30120)	38
4.3.25 リストア進捗(Ethernet)(W-30121)	39
4.4 使用デバイス一覧	40
4.5 コメント一覧	43
4.6 レンピー一覧	47

4.7 スクリプト一覧.....	49
5. テンプレート.....	78
6. その他.....	79
6.1 システム構成の変更	79
6.2 iQSS バックアップフォルダ構成	82

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0100	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/09	iQSS_Backup_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

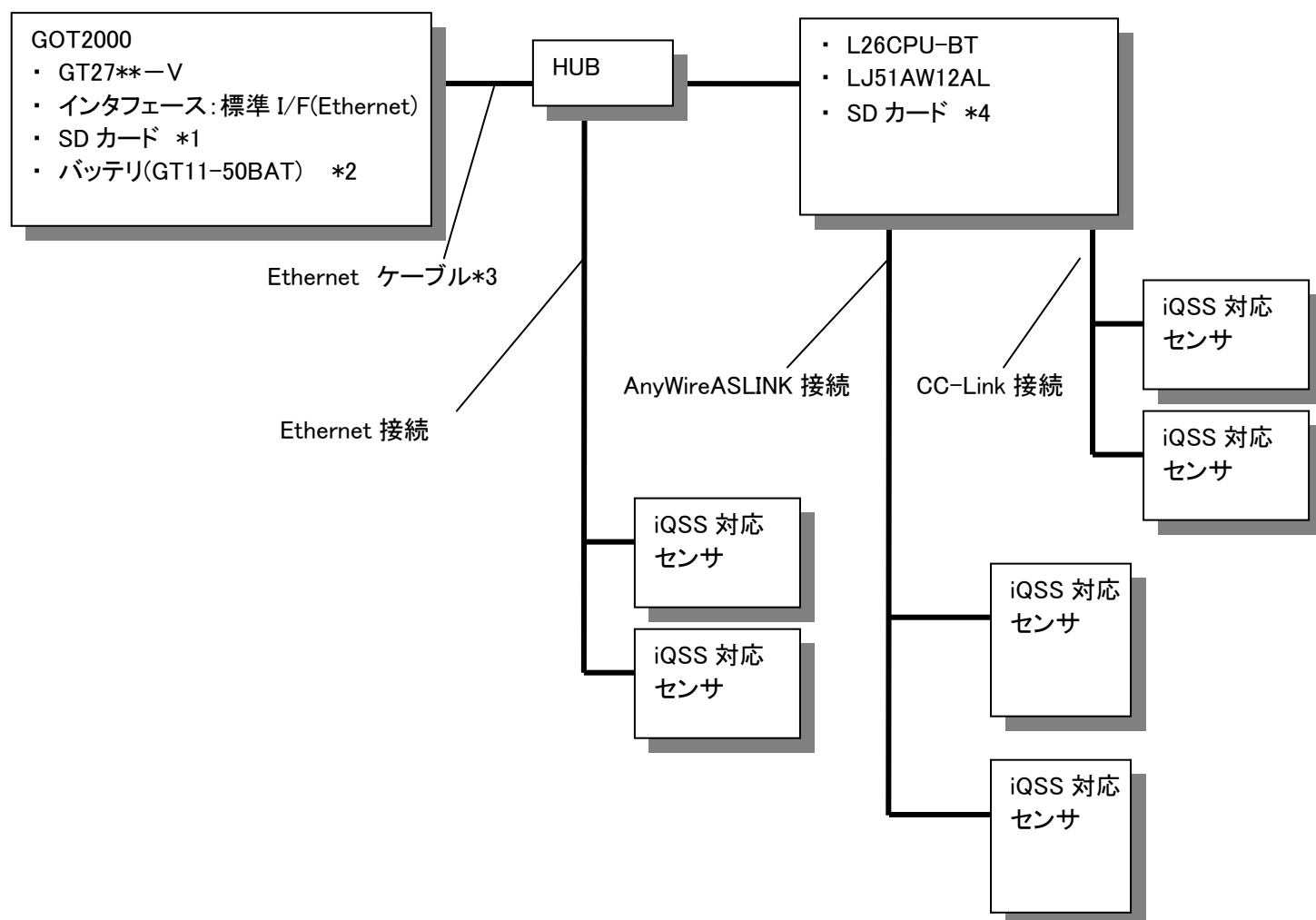
GOT2000 と三菱電機株式会社 MELSEC-L シリーズのシーケンサを Ethernet 接続し、シーケンサに AnyWireASLINK 接続または CC-Link 接続または Ethernet 接続されている iQ Sensor Solution 対応センサのパラメータをシーケンサ CPU に装着した SD カードにバックアップ、または SD カードからリストアを行うための、サンプル画面の説明書です。

サンプル画面は、AnyWireASLINK・CC-Link・Ethernet の各ネットワークに対応していますが、画面データを一部修正することで、各ネットワーク専用のサンプル画面として使用することもできます。詳細については、「6.1 システム構成の変更」を参照してください。

<注意事項>

iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能は、シーケンサ側の iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア機能(iQ Sensor Solution 対応センサのパラメータをシーケンサ CPU に装着した SD カードにバックアップ、または SD カードからリストアする機能)を GOT から実行する機能です。GOT 固有のバックアップ/リストア機能とは、仕様が異なります。

2. システム構成



*1:SD カードは、レシピ機能で使用しています。

*2:バッテリーは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリーはGOT本体に標準装備しています。)

*3:ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

*4:SD カードは、iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能で使用しています。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称	
基本機能	基本システムアプリケーション	
	標準フォント	日本語
通信ドライバ	Ethernet 接続	Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700,ゲートウェイ
拡張機能	標準フォント	中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック
		英数かな
		日本語漢字
		中国(簡体)漢字

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

詳細設定

項 目	設定値	備 考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上がり時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項 目	設定値	備 考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	LCPU	192.168.3.39	5006	UDP

4. 画面仕様

4.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.254、255 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

4.2 画面遷移

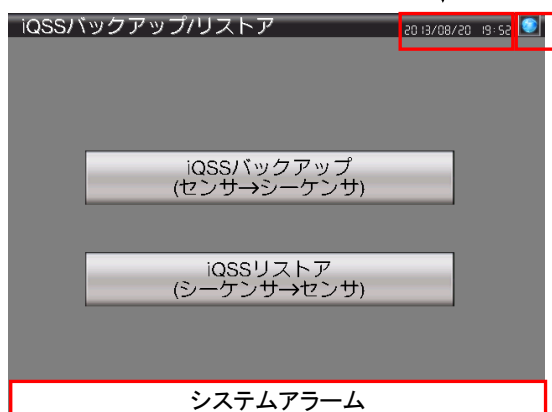
4.2.1 画面遷移(共通)



ウィンドウ画面 W-30003:時計設定



ウィンドウ画面 W-30002:言語設定

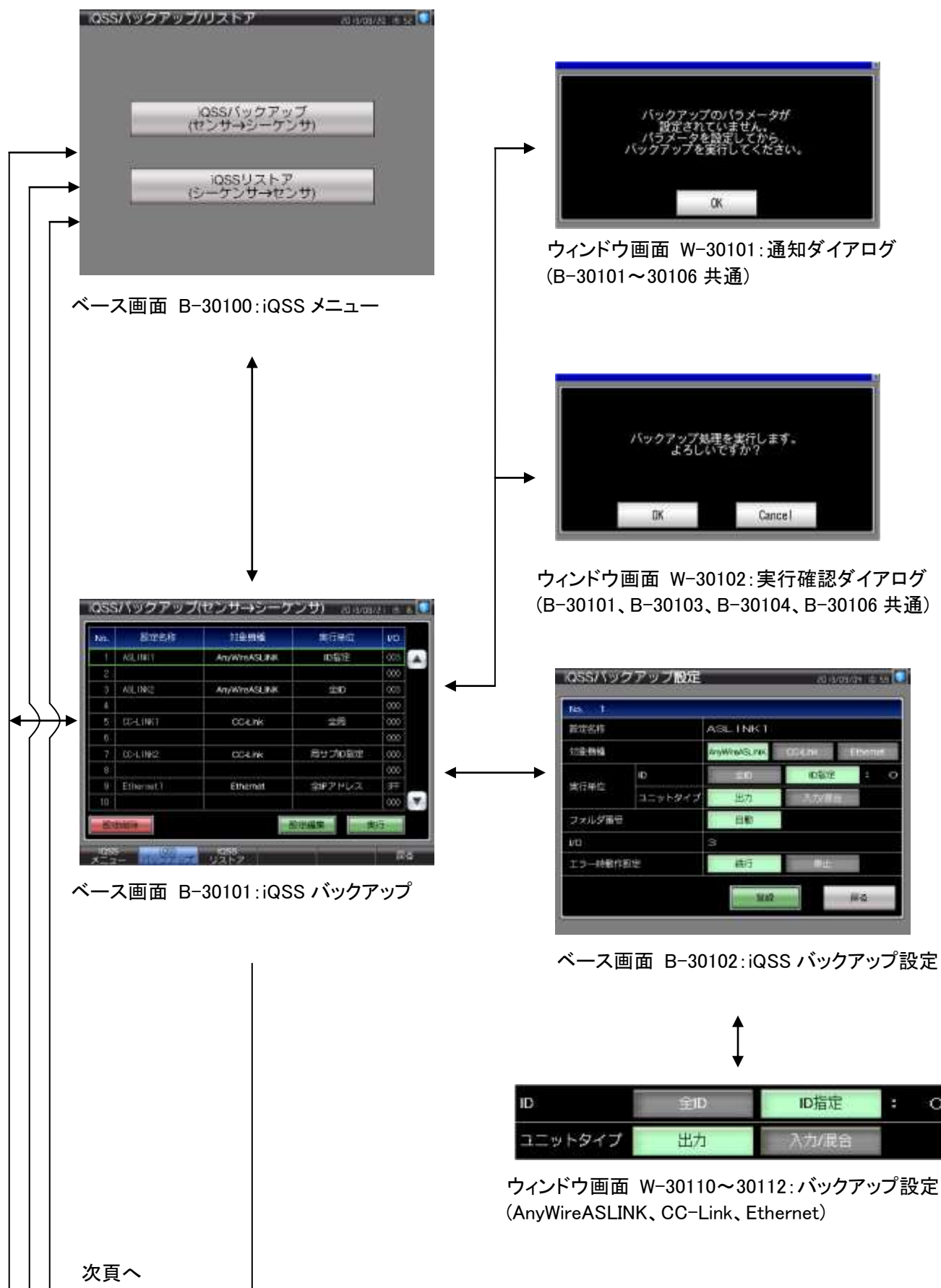


ベース画面 B-30100:iQSS メニュー
他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30001:アラームリセット

4.2.2 画面遷移(個別)



次頁へ

前頁より

ベース画面 B-30103:iQSS バックアップ進捗

実行単位	ID指定
対象機器	ID
ユニットタイプ	出力

ウィンドウ画面 W-30113~30115:バックアップ進捗
(AnyWireASLINK、CC-Link、Ethernet)

ウィンドウ画面 W-30100:データ削除確認
ダイアログ(B-30101、B-30104 共通)

ベース画面 B-30104:iQSS リストア

ベース画面 B-30105:iQSS リストア設定

ベース画面 B-30106:iQSS リストア進捗

ID	全ID	ID指定
ユニットタイプ	出力	

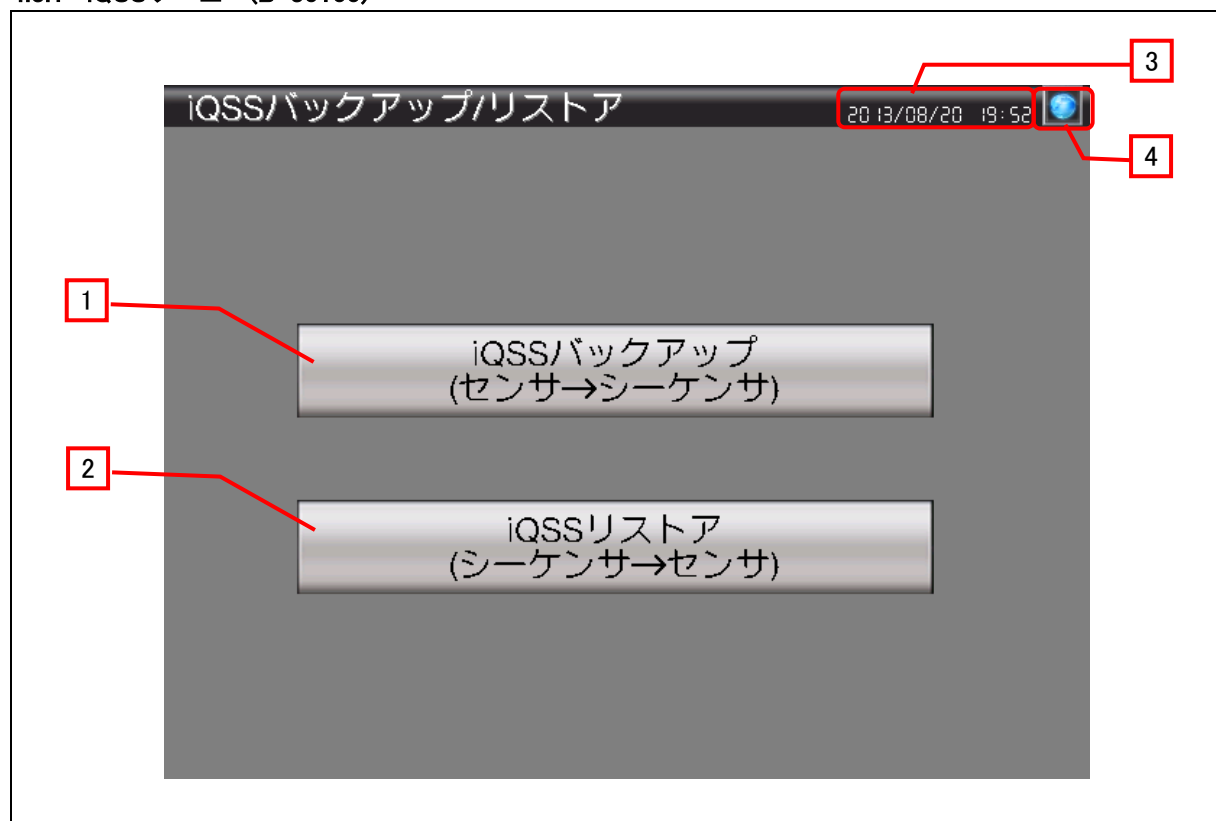
ウィンドウ画面 W-30116~30118:リストア設定
(AnyWireASLINK、CC-Link、Ethernet)

実行単位	ID指定
対象機器	ID
ユニットタイプ	出力

ウィンドウ画面 W-30119~30121:リストア進捗
(AnyWireASLINK、CC-Link、Ethernet)

4.3 画面説明

4.3.1 iQSS メニュー(B-30100)



概要

iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇄センサ)機能のメニュー画面です。

詳細

1. iQSS バックアップ画面に切り換えます。
2. iQSS リストア画面に切り換えます。
3. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
4. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴をレシピファイルから読み出します。レシピ機能については「4.6 レシピ一覧」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.2 iQSS バックアップ(B-30101)



概要

選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。また、iQSS バックアップ設定の編集、削除を実行します。

詳細

1. iQSS バックアップ設定を 10 件ずつ、最大 100 件まで一覧表示します。iQSS バックアップ設定をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。
2. 選択状態の iQSS バックアップ設定を削除します。
3. 一覧を上下方向に頁スクロールします。
4. iQSS バックアップ進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。スイッチのタッチ時に選択状態の iQSS バックアップ設定が未登録の場合は、エラーダイアログを表示します。
5. iQSS バックアップ設定画面に切り換えます。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップ履歴は、対象機種毎に各 100 件まで保存可能です。101 件目のバックアップを実行する際には、同一機種の最も古いデータに上書きする旨のメッセージが表示されます。
- ・ 削除操作では、レシピファイルに保存されている iQSS バックアップ設定を削除します。レシピ機能については、「4.6 レシピ一覧」を参照してください。
- ・ 「実行単位」のワードランプにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「4.7 スクリプト一覧」を参照してください。

- ・ アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.3 iQSS バックアップ設定(B-30102)

The screenshot shows the 'iQSS/バックアップ設定' (iQSS Backup Setting) screen. The interface includes a title bar with a clock showing '2013/09/04 10:59'. The main area contains several fields and buttons:

- 1**: 'No. 1' (Registration number)
- 2**: '設定名称' (Setting name) field with 'ASLINK1' entered.
- 3**: '対象機種' (Target device) buttons: 'AnyWireASLINK' (selected), 'CC-Link', and 'Ethernet'.
- 4**: '実行単位' (Execution unit) section with 'ID' (set to '全ID'), 'ID指定', 'ユニットタイプ' (set to '出力'), and '入力/混合'.
- 5**: 'フォルダ番号' (Folder number) field with '自動' (Automatic) selected.
- 6**: 'I/O' field with '3' entered.
- 7**: 'エラー時動作設定' (Error action setting) buttons: '続行' (Continue) and '停止' (Stop).
- 8**: '登録' (Register) button.
- 9**: '戻る' (Back) button.
- 10**: Clock icon in the top right.
- 11**: Language setting icon in the top right.

概要

iQSS バックアップ設定を登録します。

詳細

- 登録番号を表示します。
- iQSS バックアップ設定の名称を入力します。
- iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの種別を表示します。
- iQSS バックアップ対象を指定します。
- iQSS バックアップデータの格納先フォルダ名となるフォルダ番号を自動的に割り付ける設定としています。フォルダ番号には、0～99 の値が自動割り付けされます。
- iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの I/O No.を 16 で割った値を入力します。対象機種を Ethernet に設定した場合、3FFH が自動で入力されます。
- iQSS バックアップの実行時に、エラーが発生した際の動作を指定します。
 続行…複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失敗した場合でも、処理を続行します。
 停止…複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失敗した場合、処理を停止します。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 設定内容を保存します。保存完了時には、完了ダイアログを表示します。設定内容に不備があった場合は、エラーダイアログを表示します。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 「実行単位」は、対象機種毎にスーパーインポーズウィンドウ 1 を使用して切り換え表示します。
- 対象機種毎の「実行単位」の設定項目は「4.3.14 バックアップ設定(AnyWireASLINK)(W-30110)」～「4.3.16 バックアップ設定(Ethernet)(W-30112)」を参照してください。
- iQSS バックアップ設定の登録は画面スクリプトとレシピ機能を使用しています。スクリプトについては「4.7 スクリプト一覧」、レシピ機能については「4.6 レシピ一覧」を参照してください。
- アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.4 iQSS バックアップ進捗(B-30103)

The screenshot shows the 'iQSSバックアップ進捗' (iQSS Backup Progress) screen. It is divided into two main sections: 'バックアップ対象' (Backup Target) and 'バックアップ処理' (Backup Processing). The top right corner shows the date and time '2013/09/02 09:32'. The 'バックアップ対象' section contains a table with fields for '設定名称' (ASLINK1), '実行単位' (ID指定), '対象機器' (ID and ユニットタイプ), and 'I/O' (出力 3). The 'バックアップ処理' section contains a table with fields for '開始日時' (2013/09/02 09:32), '進捗' (100% progress bar), '対象機器総数' (1), 'バックアップ成功' (1), and 'バックアップ失敗' (0). At the bottom, there is a button labeled 'iQSS メニュー' and a button labeled 'バックアップ中止'.

バックアップ対象	
設定名称	ASLINK1
実行単位	ID指定
対象機器	ID
	ユニットタイプ
I/O	出力 3

バックアップ処理	
開始日時	2013/09/02 09:32
進捗	100%
対象機器総数	1
バックアップ成功	1
バックアップ失敗	0

Buttons: iQSS メニュー, バックアップ中止

概要

iQSS バックアップの進捗状況と結果を表示します。

詳細

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS バックアップ中は非表示となり、iQSS バックアップ完了後に表示されます。
2. iQSS バックアップの設定を表示します。
3. iQSS バックアップを開始した日時を表示します。
4. iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS バックアップ対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS バックアップ対象機器の総数を表示します。
6. iQSS バックアップが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS バックアップを中止するための確認ウィンドウを表示します。iQSS バックアップ中は表示され、iQSS バックアップ完了後に非表示となります。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・iQSS バックアップの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- ・iQSS バックアップが失敗した場合は、対象機器総数・バックアップ成功・バックアップ失敗がそれぞれ 0 件となる場合があります。
- ・バックアップ対象の実行単位・対象機種はスーパーインポーズウィンドウ 1 を使用して表示します。iQSS バックアップの設定により、スーパーインポーズウィンドウ 1 を切り換えます。
- ・iQSS バックアップ履歴は、画面スクリプトとレシピ機能を使用して保存します。スクリプトについては「4.7 スクリプト一覧」、レシピ機能については「4.6 レシピ一覧」を参照してください。
- ・アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.5 iQSS リストア(B-30104)



概要

iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定の確認、iQSS バックアップ履歴の削除を実行します。

詳細

1. iQSS バックアップ履歴を 10 件ずつ、最大 300 件まで一覧表示します。iQSS バックアップ履歴をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。iQSS バックアップ履歴は、新しい履歴から順に上から表示します。
2. 選択状態の iQSS バックアップ履歴を削除します。iQSS バックアップ履歴を 1 件削除すると、削除した iQSS バックアップ履歴より古い履歴を 1 行ずつ上に繰り上げて表示します。
3. iQSS バックアップ履歴を全て削除します
4. 一覧を上下方向にスクロールします。
5. iQSS リストア進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ履歴に対応したリストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴が表示されていない箇所を選択して iQSS リストアを実行した場合は、エラーダイアログを表示します。
6. iQSS リストア設定画面に切り換えます。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS バックアップの実行時に、シーケンサに装着された SD カード内に iQSS バックアップデータが作成された場合のみ iQSS バックアップ履歴を作成します。
- ・ 異常終了や中断した iQSS バックアップの履歴に対応した iQSS リストア設定からはリストアできません。

- ・ 削除操作では、GOT に装着した SD カード内に保存している iQSS バックアップ履歴を削除しています。実際の iQSS バックアップデータは、シーケンサ CPU に装着された SD カード内にあり、GOT からは削除できない仕様となっていますのでご注意ください。また、iQSS バックアップデータを SD カードから削除した場合、該当する iQSS バックアップ履歴からリストアできなくなりますのでご注意ください。
- ・ シーケンサ CPU に装着された SD カード内のフォルダ構成は、「6.2 iQSS バックアップフォルダ構成」を参照してください。
- ・ アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.6 iQSS リストア設定(B-30105)

iQSS リストア設定

2013/09/04 09:57

1. No. 3

2. 戻る

3. 設定名称 ASLINK1

4. 対象機種 AnyWireASLINK

5. 実行単位

ID 全ID ID指定 : ○

ユニットタイプ 出力

6. フォルダ番号 29

7. I/O 3

8. エラー時動作設定

続行 停止

9. 2013/09/04 09:57

10. 時計設定

概要

iQSS リストア設定を確認します。iQSS リストア設定の内容は、フォルダ番号を除き、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。

詳細

1. iQSS バックアップ履歴の No.を表示します。
2. 前回表示していた画面に切り換えます。
3. iQSS バックアップ設定の名称を表示します。
4. iQSS バックアップを実行した時の対象機種を表示します。
5. iQSS リストア対象(= iQSS バックアップを実行した時の iQSS バックアップ対象)を表示します。
6. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップデータを格納したフォルダ番号を表示します。
7. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップ対象機器が接続されていたネットワークユニットの I/O No.を表示します。
8. iQSS リストアの実行時に、エラーが発生した際の動作を表示します。iQSS バックアップを実行した時の設定と同じです。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・表示は iQSS バックアップ設定画面と同様です。
- ・「実行単位」の設定項目は、対象機種毎にスーパーインポーズウィンドウ 1 を使用して切り換え表示します。
- ・「実行単位」の設定項目は「4.3.20 リストア設定(AnyWireASLINK)(W-30116)」～「4.3.22 リストア設定(Ethernet)(W-30118)」を参照してください。
- ・アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.7 iQSS リストア進捗(B-30106)

リストア対象	
設定名称	ASLINK1
実行単位	ID指定
対象機器	ID
	ユニットタイプ
I/O	出力
	3

リストア処理	
開始日時	2013/09/02 09:32
進捗	100%
対象機器総数	1
リストア成功	1
リストア失敗	0

1: iQSS メニュー リストア中止

概要

iQSS リストアの進捗を表示します。

詳細

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS リストア中は非表示となり、iQSS リストア完了後に表示されます。
2. iQSS リストアの設定を表示します。iQSS リストア設定の内容は、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。
3. iQSS リストアを開始した日時を表示します。
4. iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS リストア対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS リストア対象機器の総数を表示します。
6. iQSS リストアが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS リストアを中止するための確認ウィンドウを表示します。iQSS リストア中は表示され、iQSS リストア完了後に非表示となります。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ iQSS リストアの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- ・ iQSS リストアでエラーが発生した際は、対象機器総数・リストア成功・リストア失敗はそれぞれ 0 件となる場合があります。
- ・ リストア対象の実行単位・対象機種はスーパーインポーズウィンドウ 1 を使用して表示します。iQSS バックアップの設定により、スーパーインポーズウィンドウ 1 を切り換えます。
- ・ アラームリセットウィンドウ・言語設定ウィンドウ・時計設定ウィンドウが表示されていた場合、画面切り換え時には、ウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.8 アラームリセット(W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

4.3.9 言語設定(W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.10 時計設定(W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

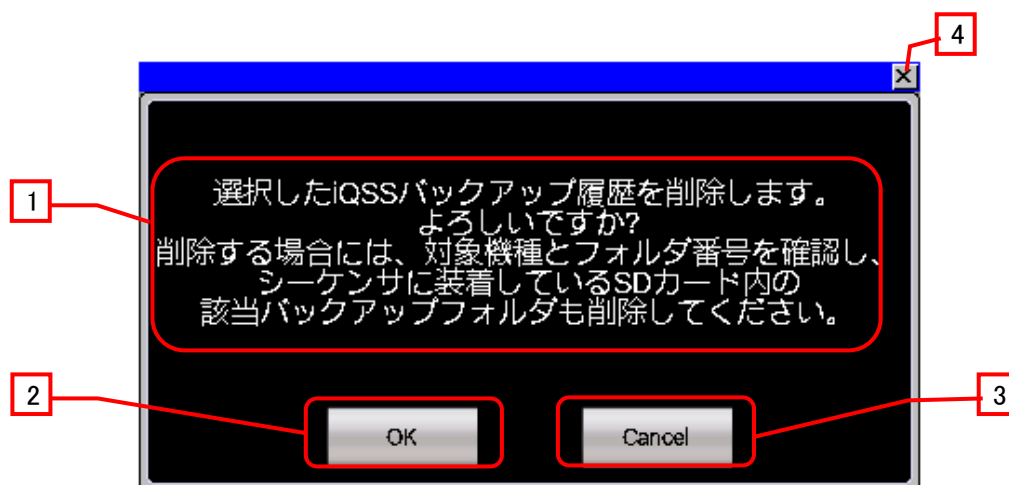
詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を ▼ ▲ スイッチで設定します。▼ ▲ スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「4.7 スクリプト一覧」を参照してください。

4.3.11 データ削除確認ダイアログ(W-30100)



概要

iQSS バックアップ設定、または iQSS バックアップ履歴の削除を確認します。

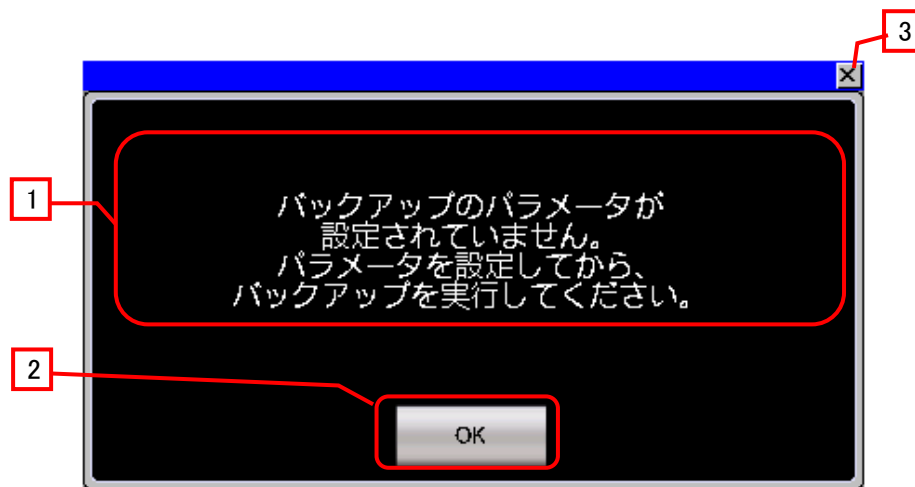
詳細

1. メッセージを表示します。
2. 対象のデータを削除し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示するメッセージは、どのスイッチからウィンドウ画面を開いたかで異なります。

4.3.12 通知ダイアログ(W-30101)



概要

処理結果を通知します。

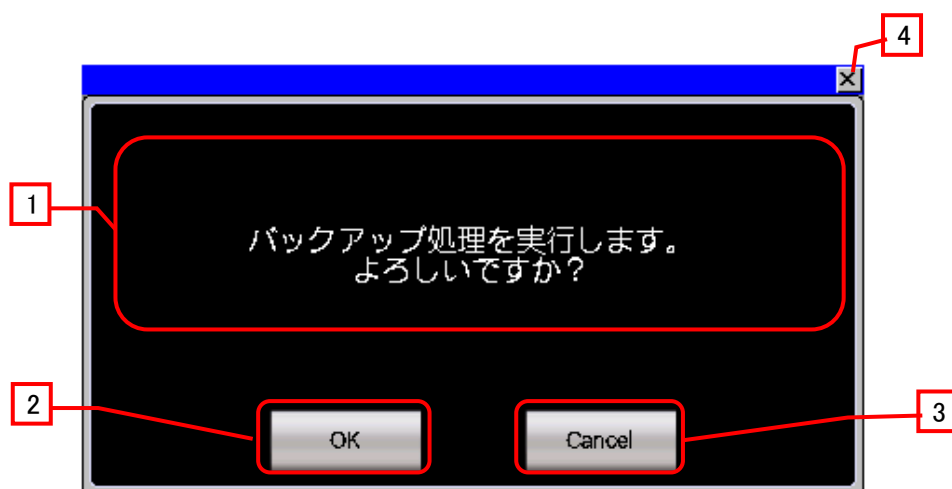
詳細

1. メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・メッセージの内容は、ウィンドウを読み出したスクリプトによって異なります。スクリプトの詳細は、「4.7 スクリプト一覧」を参照してください。

4.3.13 実行確認ダイアログ(W-30102)



概要

各種動作をする前に確認をします。

詳細

1. メッセージを表示します。
2. 各種動作を実行し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ メッセージの内容、動作については、表示されるベース画面によって異なります。
 - iQSS バックアップ画面……………iQSS バックアップ実行
 - iQSS バックアップ進捗画面……iQSS バックアップ中止
 - iQSS リストア画面……………iQSS リストア実行
 - iQSS リストア進捗画面……………iQSS リストア中止

4.3.14 バックアップ設定(AnyWireASLINK)(W-30110)



概要

対象機種が AnyWireASLINK 時の iQSS バックアップ対象を設定します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサを対象とします。
2. 指定した iQSS 対応センサのユニットタイプを設定します。ID 指定を選択した場合のみ動作します。
3. 指定した ID の iQSS 対応センサを対象とします。

備考

4.3.15 バックアップ設定(CC-Link)(W-30111)



概要

対象機種が CC-Link 時の iQSS バックアップ対象を設定します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサを対象とします。
2. 指定した局番の iQSS 対応センサを対象とします。
3. 指定した局サブ ID の iQSS 対応センサを対象とします。局サブ ID を指定する際には、局番の指定も必要となります。

備考

4.3.16 バックアップ設定(Ethernet)(W-30112)



概要

対象機種が Ethernet 時の iQSS バックアップ対象を設定します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサを対象とします。
2. IP アドレスを設定します。IP アドレス指定を選択した場合のみ動作します。
3. 指定した IP アドレスの iQSS 対応センサを対象とします。

備考

4.3.17 バックアップ進捗(AnyWireASLINK)(W-30113)

実行単位		ID指定	1
対象機器	ID	○	2
	ユニットタイプ	出力	3

概要

対象機種に AnyWireASLINK を設定して iQSS バックアップを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

1. 実行単位を表示します。

2. 対象機器の ID を表示します。実行単位が ID 指定の際に表示されます。

3. 対象機器のユニットタイプを表示します。実行単位が ID 指定の際に表示されます。

備考

4.3.18 バックアップ進捗(CC-Link)(W-30114)

実行単位		局サブID指定
対象機器	局番	○
	局サブID	○

概要

対象機種に CC-Link を設定して iQSS バックアップを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

1. 実行単位を表示します。
2. 対象機器の局番を表示します。実行単位が局番指定、または局サブ ID 指定の際に表示されます。
3. 対象機器のユニットタイプを表示します。実行単位が局サブ ID 指定の際に表示されます。

備考

4.3.19 バックアップ進捗(Ethernet)(W-30115)

実行単位	IPアドレス指定
対象機器	192 . 168 . 3 . 40

概要

対象機種に Ethernet を設定して iQSS バックアップを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

1. 実行単位を表示します。
2. 対象機器の IP アドレスを表示します。実行単位が IP アドレス指定の際に表示されます。

備考

4.3.20 リストア設定(AnyWireASLINK)(W-30116)



概要

対象機種が AnyWireASLINK 時の iQSS リストア対象を表示します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサが対象となります。
2. 対象となる iQSS 対応センサのユニットタイプを表示します。ID 指定が選択されている際に有効となります。
3. 表示された ID の iQSS 対応センサが対象となります。

備考

4.3.21 リストア設定(CC-Link)(W-30117)



概要

対象機種が CC-Link 時の iQSS リストア対象を表示します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサが対象となります。
2. 表示された局番の iQSS 対応センサが対象となります。
3. 表示された局サブ ID の iQSS 対応センサが対象となります。

備考

4.3.22 リストア設定(Ethernet)(W-30118)



概要

対象機種が Ethernet 時の iQSS リストア対象を表示します。

詳細

1. 全ての iQSS 対応センサが対象となります。
2. 対象となるユニットの IP アドレスを表示します。IP アドレス指定が選択されている際に有効となります。
3. 表示された IP アドレスの iQSS 対応センサが対象となります。

備考

4.3.23 リストア進捗(AnyWireASLINK)(W-30119)

実行単位		ID指定	1
対象機器	ID	○	2
	ユニットタイプ	出力	3

概要

対象機種に AnyWireASLINK を設定して iQSS リストアを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

1. 実行単位を表示します。

2. 対象機器の ID を表示します。実行単位が ID 指定の際に表示されます。

3. 対象機器のユニットタイプを表示します。実行単位が ID 指定の際に表示されます。

備考

4.3.24 リストア進捗(CC-Link)(W-30120)

実行単位		局サブID指定	1
対象機器	局番	○	2
	局サブID	○	3

概要

対象機種に CC-Link を設定して iQSS リストアを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

- 1. 実行単位を表示します。
- 2. 対象機器の局番を表示します。実行単位が局番指定、または局サブ ID 指定の際に表示されます。
- 3. 対象機器のユニットタイプを表示します。実行単位が局サブ ID 指定の際に表示されます。

備考

4.3.25 リストア進捗(Ethernet)(W-30121)

実行単位		IPアドレス指定	1
対象機器	IPアドレス	192 . 168 . 3 . 40	2

概要

対象機種に Ethernet を設定して iQSS リストアを実行した際の、対象機器の設定を表示します。

詳細

1. 実行単位を表示します。
2. 対象機器の IP アドレスを表示します。実行単位が IP アドレス指定の際に表示されます。

備考

4.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

4.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	SM1435	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行許可ビット
	SM1436	iQ Sensor Solution 対応バックアップ要求ビット
	SM1437	iQ Sensor Solution 対応バックアップ正常完了ビット
	SM1438	iQ Sensor Solution 対応バックアップ異常完了ビット
	SM1439	iQ Sensor Solution 対応リストア要求ビット
	SM1440	iQ Sensor Solution 対応リストア正常完了ビット
	SM1441	iQ Sensor Solution 対応リストア異常完了ビット
	SM1442	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア中止要求ビット
ワード	SD1435	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用要求デバイス
	SD1436	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用権取得状況デバイス
	SD1437	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器/実行単位設定デバイス
	SD1438	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象フォルダ番号設定デバイス
	SD1439	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象ユニット)
	SD1440	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 1)
	SD1441	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 2)
	SD1444	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア動作設定デバイス
	SD1446	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア状態デバイス
	SD1447	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(総対象機器数)
	SD1448	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(正常完了機器数)
	SD1449	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(異常完了機器数)
	SD1450	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(機器単位進捗)
	SD1451	iQ Sensor Solution 対応バックアップフォルダ番号デバイス
	SD1452	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストアユニットエラー要因
	SD1453	iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器エラー要因

4.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GB41	各種ビットデバイスクリア(常時 OFF)
	GB54000	スクリプト No.30024 起動トリガ
	GB54001	スクリプト No.30025 起動トリガ
	GB54002	スクリプト No.30030 起動トリガ
	GB54004	iQSS バックアップ許可フラグ
	GB54005	スクリプト No.30034 起動トリガ
	GB54006	スクリプト No.30036 起動トリガ
	GB54008	スクリプト No.30033 初回起動スクリプト起動制御フラグ
	GB54009	スクリプト No.30005、30008 制御フラグ
	GB54010	スクリプト No.30040 起動トリガ
	GB54011	スクリプト No.30042 起動トリガ
	GB54012	スクリプト No.30036 削除範囲設定フラグ
	GB54013	スクリプト No.30028 起動トリガ
	GB54014	B-30100 画面切替スイッチ動作条件
	GB54016	レシピ No.30001 書き込みトリガ
	GB54017	レシピ No.30001 読み出しトリガ
	GB54018	レシピ No.30002 書き込みトリガ
	GB54019	レシピ No.30002 読み出しトリガ
ワード	GD54000	B-30101 カーソル表示デバイス
	GD54001	B-30101 データ表示オフセットデバイス
	GD54002	B-30104 カーソル表示デバイス
	GD54003	B-30104 データ表示オフセットデバイス
	GD54004	レシピ動作制御デバイス
	GD54005	B-30101No.表示デバイス
	GD54006	W-30004～30006 コメント表示デバイス
	GD54007	B-30101 データ移動用オフセットデバイス
	GD54008	B-30104 データ移動用オフセットデバイス
	GD54009	レシピ外部制御デバイス
	GD54010	レシピ No.格納デバイス
	GD54011	レコード No.格納デバイス
	GD54012	レシピ外部通知デバイス
	GD54013	レシピ No.通知デバイス
	GD54014	レコード No.通知デバイス
	GD54015～GD54034	B-30101、B-30102 バックアップ設定ワークエリア
	GD54040～GD54042	B-30103、B-30106 バックアップ/リストア開始時間格納デバイス
	GD54043～GD54062	B-30105 バックアップデータ詳細表示用エリア
	GD54075	スクリプト No.30001 対象機器判定デバイス
	GD54076～GD54085	B-30101 実行単位コメント表示デバイス
	GD54086	B-30101、B-30102 ユニットタイプ選択スイッチ表示フラグ
	GD54087	AnyWireASLINK のバックアップ件数
	GD54088	CC-Link のバックアップ件数

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GD54089	Ethernet のバックアップ件数
	GD54090	レシピ No.30001 レコード No.
	GD54091	レシピ No.30002 レコード No.
	GD54092	スクリプト No.30001 機器専用画面設定時の I/O No.
	GD54093	IP アドレスの 3 オクテット目
	GD54094	IP アドレスの 4 オクテット目
	GD54095	IP アドレスの 1 オクテット目
	GD54096	IP アドレスの 2 オクテット目
	GD54100～GD56199	バックアップ設定格納エリア
	GD56200～GD64299	バックアップ結果格納エリア
	GD65000	ベース画面切換デバイス
	GD65001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切換デバイス
	GD65004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切換デバイス
	GD65007	オーバーラップウィンドウ 3 画面切換デバイス
	GD65016	スーパーインポーズウィンドウ 1 画面切換デバイス
	GD65021	言語切り換えデバイス
	GD65022	システム言語切り換えデバイス
	GD65031、GD65041	システム情報デバイス
	GD65190	時間変更デバイス(年)
	GD65191	時間変更デバイス(月)
	GD65192	時間変更デバイス(日)
	GD65193	時間変更デバイス(時)
	GD65194	時間変更デバイス(分)
	GD65195	時間変更デバイス(秒)
	GS386	プロジェクト/ 画面スクリプト初回動作制御デバイス
	GS513～GSS516	変更時刻デバイス
	GS650～GSS652	現在時刻デバイス
	TMP0 ～ TMP28 、 TMP100 ～ TMP105 、 TMP200 ～ TMP206 、 TMP211 ～ TMP213 、 TMP220 ～ TMP223 、 TMP1000、TMP1001、 TMP1010、TMP1020	スクリプト演算用

4.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No.1	W-30005
	No.2	W-30005
	No.4	W-30005
	No.8	W-30005
	No.32	W-30005
	No.100	W-30005
	No.101	W-30005
	No.102	W-30005
	No.103	W-30005
	No.104	W-30005
	No.200	W-30005
	No.201	W-30005
	No.202	W-30005
	No.300	W-30005
	No.301	W-30005
	No.302	W-30005
	No.303	W-30005
	No.304	W-30005
	No.305	W-30005
	No.400	W-30005
	No.401	W-30005
	No.500	W-30005
	No.18433	W-30005
	No.18434	W-30005
	No.18435	W-30005
	No.18436	W-30005
	No.18437	W-30005
	No.18438	W-30005
	No.18439	W-30005
	No.18440	W-30005
	No.18441	W-30005
	No.32000	W-30005
	No.32001	W-30005
	No.32002	W-30005
	No.32003	W-30005
	No.32004	W-30005
	No.32005	W-30005
	No.32006	W-30005
	No.32007	W-30005
	No.32008	W-30005
	No.32009	W-30005
	No.32010	W-30005
	No.32011	W-30005
	No.32012	W-30005
	No.32013	W-30005
	No.32014	W-30005
	No.32015	W-30005

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
254	No.32016	W-30005
	No.32017	W-30005
255	No.201	B-30100
	No.202	B-30101
	No.203	B-30102
	No.204	B-30103
	No.205	B-30104
	No.206	B-30105
	No.207	B-30106
	No.208	B-30100
	No.209	B-30100
	No.210	B-30101、B-30102、B-30104、B-30105
	No.211	B-30102、B-30103、B-30105、B-30106
	No.212	B-30101～30106
	No.213	W-113～115、W-119～121
	No.216	B-30101
	No.217	B-30101
	No.218	B-30101、B-30104
	No.219	B-30101、B-30103、B-30104、B-30106
	No.220	B-30101、B-30104
	No.221	B-30101、B-30104
	No.222	B-30101、B-30102、B-30104、B-30105
	No.223	B-30101、B-30102、B-30105
	No.224	B-30102、B-30105
	No.225	W-30111、W-30114、W-30117、W-30120
	No.226	W-30110、W-30113、W-30116、W-30119
	No.227	W-30111、W-30114、W-30117、W-30120
	No.228	B-30102、B-30105
	No.229	B-30101、B-30102、B-30105
	No.230	B-30101、B-30102、B-30105
	No.231	B-30101、B-30102
	No.232	B-30101、W-30110、W-30113～30116、W-30119～30121
	No.233	B-30101、W-30110、W-30113～30116、W-30119～30121
	No.234	B-30102、B-30105
	No.235	B-30102、B-30105
	No.236	B-30102
	No.237	B-30103
	No.238	B-30103
	No.239	B-30103、B-30106
	No.240	B-30103、B-30106
	No.241	B-30103、B-30106
	No.242	B-30101、W-30111、W-30113～30115、W-30117、W-30119～30121
	No.243	B-30101、W-30111、W-30113～30115、W-30117、W-30119～30121
	No.244	B-30101、W-30111、W-30113～30115、W-30117、W-30119～30121

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.245	B-30101、B-30102、B-30105、W-30113～30115、 W-30119～30121
	No.246	B-30103
	No.247	B-30103
	No.248	B-30103
	No.249	B-30104
	No.250	B-30104
	No.251	B-30104
	No.252	B-30106
	No.253	B-30106
	No.254	B-30106
	No.255	B-30106
	No.256	B-30106
	No.257	W-30100～30102
	No.258	W-30100、W-30102
	No.259	W-30003
	No.260	W-30003
	No.261	W-30003
	No.262	W-30003
	No.263	W-30003
	No.264	W-30003
	No.265	W-30003
	No.266	W-30001、W-30003
	No.267	W-30003
	No.268	W-30102
	No.269	W-30102
	No.270	W-30102
	No.271	W-30102
	No.272	W-30101
	No.273	B-30104
	No.274	B-30104
	No.275	B-30104
	No.276	B-30104
	No.277	B-30104
	No.278	B-30104
	No.279	B-30101、B-30104
	No.280	W-30102
	No.281	W-30102
	No.282	W-30100
	No.283	W-30110、W-30113、W-30116、
	No.284	W-30110、W-30113、W-30116、W-30119
	No.285	W-30110、W-30113、W-30116、W-30119
	No.286	B-30103、B-30106
	No.287	－
	No.288	－
	No.289	W-30100
	No.290	W-30002
	No.291	W-30001
	No.292	B-30101、B-30102、B-30105

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.293	W-30112、W-30115、W-30118、W-30121
	No.294	B-30101、W-30112～30115、W-30118～30121
	No.295	B-30101、W-30112～30115、W-30118～30121
	No.296	B-30104

4.6 レシピー覧

4.6.1 共通設定

外部制御情報	
外部制御デバイス	GD54009
レシピ No.格納デバイス	GD54010
レコード No.格納デバイス	GD54011
外部通知情報	
外部通知デバイス	GD54012
レシピ No.通知デバイス	GD54013
レコード No.通知デバイス	GD54014

4.6.2 個別設定

レシピ No.30001 レシピ 1

項 目		設 定
レシピファイル		レシピファイルを使用する
	ファイル形式	G2P(バイナリ)
	ドライブ名	A:標準 SD カード
	フォルダ名	Package1
	ファイル名	ARP30001.G2P
	デバイスコメントを変換対象とする	チェックなし
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB54016
	読み出しトリガデバイス 1	GB54017
	レコード No.デバイス	GD54090
ブロック数		1
レコード数		1
ブロック 1	デバイス	GD54100
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	2100

レシピ No.30001 レシピ 2

項 目		設 定
レシピファイル		レシピファイルを使用する
	ファイル形式	G2P(バイナリ)
	ドライブ名	A:標準 SD カード
	フォルダ名	Package1
	ファイル名	ARP30002.G2P
	デバイスコメントを変換対象とする	チェックなし
トリガデバイス	書き込みトリガデバイス 1	GB54018
	読み出しトリガデバイス 1	GB54019
	レコード No.デバイス	GD54091
ブロック数		2
レコード数		1
ブロック 1	デバイス	GD56200
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	8100
ブロック 2	デバイス	GD54087
	デバイス形式	符号付き BIN16
	点数	3

4.7 スクリプト一覧

項 目	設 定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り: B-30100～30104、B-30106
オブジェクトスクリプト	有り: B-30101、W-30001

4.7.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	画面起動時の処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>// iQSS バックアップ/リストアサンプル画面の初期化をします。 [w:GS386] = 1; //スクリプト初回起動を抑止します。 [w:GD54005] = 1; //iQSS バックアップの最初の No.を 1 に設定します。 //対象機器を決定します。 [w:GD54075] = 0; //0: 指定なし、1: ASLINK、2: CC-Link、3: Ethernet [w:GD54092] = 0; //専用画面として使用する場合は、ここに I/O No.を入力してください。 //iQSS バックアップ画面、iQSS リストア画面の一覧の初回表示時は、 //No.1 にカーソルを表示します。 set([b:GD54000.b0]); set([b:GD54002.b0]); //画面起動時、iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴を読み込むための //スクリプトを起動します。 set([b:GB54010]); //メニュー画面の画面切換スイッチ動作条件を設定します。 set([b:GB54014]);</pre>			

4.7.2 画面スクリプト

ベース画面 30100

スクリプト No.	30020	スクリプト名	Script30020
コメント	B-30100 iQSS バックアップ設定一覧読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB54010
<pre>//プロジェクトスクリプトから、起動されます。 //iQSS バックアップ設定一覧、iQSS バックアップ履歴一覧をレシピから読み込みます。 //Aドライブがアクセス可能かどうかをチェックします。 if([b:GS251.b0] == ON) { set([b:GB54016]); //レシピ No.30001 書き込みトリガ [w:GD54090] = 1; //レシピ No.30001 レコード No. [w:GD54004] = 1; //次データ取得フラグ }else{ rst([b:GB54014]); //画面切換スイッチ動作条件 OFF [w:GD54006] = 32015; [w:GD65007] = 30101; }</pre>			

rst([b:GB54010]);			
スクリプト No.	30021	スクリプト名	Script30021
コメント	B-30100 レシピー書き込みトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b4
<pre>//レシピーの書き込みトリガを OFF します。 //フラグが立っていた場合は、 //次のデータを読み込む if([w:GD54004] == 1) { set([b:GB54011]); }else{ rst([b:GB54014]); //画面切換スイッチ動作条件 OFF } if([w:GD54013] == 30001) { rst([b:GB54016]); //レシピー No.30001 書き込みトリガ }else{ rst([b:GB54018]); //レシピー No.30002 書き込みトリガ } rst([b:GD54012.b4]);</pre>			
スクリプト No.	30022	スクリプト名	Script30022
コメント	B-30100 iQSS バックアップ履歴一覧読み込み		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54011
<pre>//iQSS バックアップ履歴を読み込みます。 [w:GD54091] = 1; //レシピー No.30002 レコード No. set([b:GB54018]); //レシピー No.30002 書き込みトリガ [w:GD54004] = 0; //フラグクリア rst([b:GB54011]);</pre>			

ベース画面 30101

スクリプト No.	30005	スクリプト名	Script30005
コメント	B-30101 iQSS バックアップ設定転送		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB54000
<pre>//iQSS バックアップ設定一覧から、iQSS バックアップのパラメータを編集エリアへ転送します。 [w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21; [w:GD54100[w:TMP0000]] = [w:GD54007] + 1; bmov([w:GD54100[w:TMP0000]], [w:GD54015], 20); [w:GD54086] = [w:GD54120[w:TMP0000]]; //対象機種が指定されている場合は、 //対象機種、I/O No.を代入します。 if([w:GD54075] != 0) { [w:GD54016] = [w:GD54075]; //対象機種 [w:GD54030] = [w:GD54092]; //I/O No.</pre>			

```

//対象機種が AnyWireASLINK の場合のみ、実行します。
if([w:GD54075] == 1)
{
    set([b:GD54086.b0]);          //出力、入力/混合を選択するためのフラグです。
}

}

//フォルダ番号は固定です。
[w:GD54029] = -2; //フォルダ番号自動取得

[w:GD65000] = 30102;          //ベース画面切換

//対象機種に応じて、表示するスーパーインポーズウィンドウを選択します。
switch([w:GD54101[w:TMP0000]])
{
    case 1:          [w:GD65016] = 30110;          //AnyWireASLINK
                    break;

    case 2:          [w:GD65016] = 30111;          //CC-Link
                    break;

    case 3:          [w:GD65016] = 30112;          //Ethernet
                    [w:GD54093] = ([w:GD54032] & 0xFF00) >> 8; //IP アドレス 3 オクテ
ット目
                    [w:GD54094] = [w:GD54032] & 0x00FF;
                    //IP アドレス 4 オクテット目
                    [w:GD54095] = ([w:GD54033] & 0xFF00) >> 8; //IP アドレス 1 オクテ
ット目
                    [w:GD54096] = [w:GD54033] & 0x00FF;
                    //IP アドレス 2 オクテット目
                    break;

    default:          if([w:GD54075] != 0)
                    {
                        switch([w:GD54075])
                        {
                            case 1:          [w:GD65016] = 30110;
                            //AnyWireASLINK
                                                break;

                            case 2:          [w:GD65016] = 30111;
                            //CC-Link
                                                break;

                            case 3:          [w:GD65016] = 30112;
                            //Ethernet
                                                [w:GD54093] =
([w:GD54032] & 0xFF00) >> 8;          //IP アドレス 3 オクテット目
                                                [w:GD54094] =
[w:GD54032] & 0x00FF;          //IP アドレス 4 オクテット目
                                                [w:GD54095] =
([w:GD54033] & 0xFF00) >> 8;          //IP アドレス 1 オクテット目
                                                [w:GD54096] =

```


//レシピの読み出しトリガを OFF します。

```
if([w:GD54013] == 30001)
{
    rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ
}else{
    rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}
```

rst([b:GD54012.b5]);

スクリプト No.	30008	スクリプト名	Script30008
コメント	B-30101 iQSS バックアップ前処理 1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54013

//iQSS バックアップの前処理です。

//オフセット

[w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;

//A ドライブにアクセス可能どうかをチェックします。

if([b:GS251.b0] == ON)

{

//ユニット種別が 0 の場合は、設定が入っていないのでバックアップしません。

if([w:GD54101[w:TMP0000]] != 0)

{

//バックアップした件数をチェックします。

//100 件を超えていた場合は、バックアップをする前にメッセージを表示します。

switch([w:GD54101[w:TMP0000]])

{

case 1: //AnyWireASLINK
if([w:GD54087] == 100)
{
[w:GD54006] = 280;
}
}
}
}
break;

case 2: //CC-Link
if([w:GD54088] == 100)
{
[w:GD54006] = 281;
}
}
}
}
break;

case 3: //Ethernet
if([w:GD54089] == 100)
{
[w:GD54006] = 297;
}
}
}
}
break;

break;

default:break;

}

[w:GD65007] = 30102;

else{

[w:GD54006] = 32007;

[w:GD65007] = 30101;

}

else{

[w:GD54006] = 32017;

[w:GD65007] = 30101;

}

rst([b:GB54013]);

スクリプト No.	30010	スクリプト名	Script30010
コメント	B-30101 iQSS バックアップ前処理 2		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54002

//設定された内容をシーケンサのデバイスへ転送します。

//設定名称

bmov([w:GD54102[w:TMP0000]], [w:GD54017], 12);

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定

[w:SD1437] = (([w:GD54116[w:TMP0000]] & 0x00FF) << 8) + ([w:GD54101[w:TMP0000]] & 0x00FF);

//実行単位表示

[w:GD54016] = [w:GD54101[w:TMP0000]];

//SD1438:iQSS バックアップ/リストア対象フォルダ番号

[w:SD1438] = [w:GD54114[w:TMP0000]];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)

[w:SD1439] = [w:GD54115[w:TMP0000]];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:局番、Ethernet:IP アドレス(下位 16 ビット))

[w:SD1440] = [w:GD54117[w:TMP0000]];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:サブ局番、Ethernet:IP アドレス(上位 16 ビット))

[w:SD1441] = [w:GD54118[w:TMP0000]];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定

[w:SD1444] = [w:GD54119[w:TMP0000]];

//iQSS バックアップ使用権が取得されていれば、バックアップを開始します。

if([b:GB54004] == ON) && ([w:SD1446] == 0x0001))

{

set([b:SM1436]);

[w:GD65000] = 30103;

<pre>//対象機種に応じて、表示するスーパーインポーズウィンドウを選択します。 switch([w:GD54101[w:TMP0000]]) { case 1: [w:GD65016] = 30113; break; case 2: [w:GD65016] = 30114; break; case 3: [w:GD65016] = 30115; break; default: break; } }else{ [w:GD54006] = 32006; [w:GD65007] = 30101; } rst([b:GB54002]);</pre>			
スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre>//各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD65001] = 0; [w:GD65004] = 0; [w:GD65007] = 0;</pre>			

ベース画面 30102

スクリプト No.	30006	スクリプト名	Script30006
コメント	B-30102 iQSS バックアップ設定保存		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54001
<pre>//機器の iQSS バックアップ設定をレンピに保存します。 //Aドライブにアクセス可能かどうかをチェックします。 if([b:GS251.b0] == ON) { //対象機種が設定されているかをチェックします。 if([w:GD54016] != 0) { //実行単位を設定しているかチェックします。 if([w:GD54031] != 0) { //局番、局サブに正しい値が入っているかをチェックします。 if((([w:GD54031] == 1) (([w:GD54031] == 2) && ([w:GD54032] >= 0)) (([w:GD54031] >= 3) && ([w:GD54032] >= 0) && ([w:GD54033] >= 0)))) {</pre>			

[w:GD54032] = [w:GD54032] 0x0200; //入力/混合
}else{
[w:GD54032] = [w:GD54032] & 0x00FF; //出力
}

ベース画面 30103

スクリプト No.	30013	スクリプト名	Script30013
コメント	B-30103,30106 画面起動時動作		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
//画面起動時に各種設定を行います。 //画面表示時のみ起動します。 if([b:GB54008] == OFF) { //バックアップ実施日時 [w:GD54040] = [w:GS650]; [w:GD54041] = [w:GS651]; [w:GD54042] = [w:GS652]; set([b:GB54008]); } 			
スクリプト No.	30018	スクリプト名	Script30018
コメント	B-30103 正常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1437
//iQSS バックアップ完了後、結果をレシピに保存します。 //ASLINK、CC-Link、Ethernet のいずれかが 100 件を超えていた場合、 //一番古いバックアップ履歴を削除します。 //ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。 if([b:GB54009] == OFF) { if([w:GD54075] == 0) { switch([w:SD1437] & 0x00FF) { case 1: //AnyWireASLINK if([w:GD54087] == 100) { [w:TMP0001] = 0; [w:TMP0003] = 0; //全履歴から ASLINK の履歴を検索しま す。 while([w:TMP0001] <= 299) { [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27; //オフセット if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1) { [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1; if([w:TMP0003] ==			

```

100)
{
    // 履歴が
    100 件目に来たらループを抜けます。
    break;
}
[w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
}

[w:TMP0004] = 0;

fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

//削除した箇所より後ろのデータを前詰
めにします。
while([w:TMP0001] < 299)
{
    [w:TMP0002] = [w:TMP0001] *
27;    //オフセット
    [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] +
1) * 27;//コピー先オフセット

    bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
}
}
break;

case 2:    //CC-Link
    if([w:GD54088] == 100)
    {
        [w:TMP0001] = 0;
        [w:TMP0003] = 0;
        //全履歴から CC-Link の履歴を検索しま
す。
        while([w:TMP0001] <= 299)
        {
            [w:TMP0002] = [w:TMP0001] *
27;    //オフセット
            if([w:GD56201[w:TMP0002]] ==
2)
            {
                [w:TMP0003] =
[w:TMP0003] + 1;
                if([w:TMP0003] ==
100)
                {
                    // 履歴が
                    100 件目に来たらループを抜けます。

```

```

break;
    }
}
[w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
    }

[w:TMP0004] = 0;

fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

//削除した箇所より後ろのデータを前詰
めにします。

while([w:TMP0001] < 299)
{
    [w:TMP0002] = [w:TMP0001] *
27;    //オフセット
    [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] +
1) * 27;//コピー先オフセット

    bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
}

}
break;

case 3:    //Ethernet
    if([w:GD54089] == 100)
    {
        [w:TMP0001] = 0;
        [w:TMP0003] = 0;
        //全履歴から Ethernet の履歴を検索しま
す。

        while([w:TMP0001] <= 299)
        {
            [w:TMP0002] = [w:TMP0001] *
27;    //オフセット

            if([w:GD56201[w:TMP0002]] ==
3)

            {
                [w:TMP0003] =
[w:TMP0003] + 1;

                if([w:TMP0003] ==
100)

                {
                    //履歴が
100 件目に来たらループを抜けます。

                    break;
                }
            }
        }
    }
}

```

```

[w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
}

[w:TMP0004] = 0;

fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

//削除した箇所より後ろのデータを前詰
めにします。
while([w:TMP0001] < 299)
{
[w:TMP0002] = [w:TMP0001] *
27; //オフセット
[w:TMP0005] = ([w:TMP0001] +
1) * 27;//コピー先オフセット

bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]],27);

[w:TMP0001] = [w:TMP0001] +
1;
}
}
break;

default: break;
}
}

//オフセット算出
if([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2) || ([w:GD54075] == 3))
{
//ASLINK or CC-Link or Ethernet 専用画面
[w:TMP0001] = 99;
}else{
//汎用画面
[w:TMP0001] = 299;
}

//iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
while([w:TMP0001] > 0)
{
[w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
[w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

bmov([w:GD56200[w:TMP0002]], [w:GD56200[w:TMP0000]],27);
[w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

[w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
}

//No.
[w:GD56200] = 1;

```

```

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
[w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

//設定名称
bmov([w:GD54017],[w:GD56202],12);

//SD1451:iQSS:バックアップフォルダ番号
[w:GD56214] = [w:SD1451];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
[w:GD56215] = [w:SD1439];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:局番、
Ethernet:IP アドレス(下位 16 ビット))
[w:GD56217] = [w:SD1440];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:サブ局番、
Ethernet:IP アドレス(上位 16 ビット))
[w:GD56218] = [w:SD1441];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:GD56219] = [w:SD1444];

//iQSS バックアップ実施日時
[w:GD56220] = [w:GD54040];
[w:GD56221] = [w:GD54041];
[w:GD56222] = [w:GD54042];

//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
[w:GD56223] = [w:SD1447];

//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
[w:GD56224] = [w:SD1448];

//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
[w:GD56225] = [w:SD1449];

//iQSS バックアップ件数
switch([w:GD56201])
{
    case 1:          //AnyWireASLINK
        if([w:GD54087] >= 100)
        {
            [w:GD54087] = 100;
        }else{
            [w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
        }
        break;

    case 2:          //CC-Link
        if([w:GD54088] >= 100)
        {

```

```

[w:GD54088] = 100;
    }else{
        [w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
    }
    break;

case 3:          //Ethernet
    if([w:GD54089] >= 100)
    {
        [w:GD54089] = 100;
    }else{
        [w:GD54089] = [w:GD54089] + 1;
    }
    break;

default:        break;
}

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ

//中断したかどうかで、メッセージを変えます。
if([b:SM1442] == ON)
{
    [w:GD54006] = 32002; //バックアップ中断メッセージ
}else{
    [w:GD54006] = 32000; //バックアップ成功メッセージ
}
[w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ

set([b:GB54009]);
}

```

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	B-30103 異常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1438

```

//iQSS バックアップ完了後、結果をレシピに保存します。

if([b:GB54009] == OFF)
{
    //フォルダが作成されない場合は、履歴に残しません。
    if(([w:SD1447] != 0) && ([w:SD1448] != 0))
    {
        //ASLINK、CC-Link、Ethernet のいずれかが 100 件を超えていた場合、
        //一番古いバックアップ履歴を削除します。
        //ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。
        if([w:GD54075] == 0)
        {
            switch([w:SD1437] & 0x00FF)
            {
                case 1:          //AnyWireASLINK
                    if([w:GD54087] == 100)
                    {
                        [w:TMP0001] = 0;

```

検索します。

[w:TMP0001] * 27; //オフセット

if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1)

[w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;

if([w:TMP0003] == 100)

履歴が 100 件目に来たらループを抜けます。

break;

[w:TMP0001] + 1;

fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

タを前詰めにします。

[w:TMP0001] * 27; //オフセット

([w:TMP0001] + 1) * 27; //コピー先オフセット

bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

[w:TMP0001] + 1;

case 2: //CC-Link

if([w:GD54088] == 100)

{

[w:TMP0001] = 0;

[w:TMP0003] = 0;

//全履歴から CC-Link の履歴

[w:TMP0003] = 0;
//全履歴から ASLINK の履歴を

while([w:TMP0001] <= 299)
{
[w:TMP0002] =

{

{
//

}
[w:TMP0001] =

}

[w:TMP0004] = 0;

//削除した箇所より後ろのデー

while([w:TMP0001] < 299)
{
[w:TMP0002] =

[w:TMP0005] =

[w:TMP0001] =

}

}
break;

を検索します。

[w:TMP0001] * 27; //オフセット

if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 2)

[w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;

if([w:TMP0003] == 100)

履歴が 100 件目に来たらループを抜けます。

break;

[w:TMP0001] + 1;

fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

タを前詰めにします。

[w:TMP0001] * 27; //オフセット

([w:TMP0001] + 1) * 27; //コピー先オフセット

bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);

[w:TMP0001] + 1;

case 3:

//Ethernet

if([w:GD54089] == 100)

{

[w:TMP0001] = 0;

[w:TMP0003] = 0;

//全履歴から Ethernet の履歴

を検索します。

while([w:TMP0001] <= 299)

{

while([w:TMP0001] <= 299)

{

[w:TMP0002] =

{

{

//

}

}

[w:TMP0001] =

}

[w:TMP0004] = 0;

//削除した箇所より後ろのデー

while([w:TMP0001] < 299)

{

[w:TMP0002] =

[w:TMP0005] =

}

}

break;

[w:TMP0001] =


```

[w:TMP0001] * 27; //オフセット
    if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 3)
    {
        [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
        if([w:TMP0003] == 100)
        {
            //
履歴が 100 件目に来たらループを抜けます。
            break;
        }
    }
[w:TMP0001] + 1;
    [w:TMP0004] = 0;
    fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);
    //削除した箇所より後ろのデー
タを前詰めにします。
    while([w:TMP0001] < 299)
    {
        [w:TMP0002] =
        [w:TMP0005] =
([w:TMP0001] + 1) * 27; //コピー先オフセット
        bmov([w:GD56200[w:TMP0005]], [w:GD56200[w:TMP0002]], 27);
        [w:TMP0001] =
[w:TMP0001] + 1;
    }
    }
    break;
    default:
        break;
}

//オフセット算出
if([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2) || ([w:GD54075] == 3))
{
    //ASLINK or CC-Link or Ethernet 専用画面
    [w:TMP0001] = 99;
}else{
    //汎用画面
    [w:TMP0001] = 299;
}

```

```

}

//iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
while([w:TMP0001] > 0)
{
    [w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
    [w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

    bmov([w:GD56200[w:TMP0002]], [w:GD56200[w:TMP0000]], 27);
    [w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

    [w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
}

//No.
[w:GD56200] = 1;

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
[w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

//設定名称
bmov([w:GD54017], [w:GD56202], 12);

//SD1451:iQSS バックアップフォルダ番号
[w:GD56214] = [w:SD1451];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
[w:GD56215] = [w:SD1439];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:
局番)
[w:GD56217] = [w:SD1440];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:
サブ局番)
[w:GD56218] = [w:SD1441];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:GD56219] = [w:SD1444];

//iQSS バックアップ実施日時
[w:GD56220] = [w:GD54040];
[w:GD56221] = [w:GD54041];
[w:GD56222] = [w:GD54042];

//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
[w:GD56223] = [w:SD1447];

//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
[w:GD56224] = [w:SD1448];

//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
[w:GD56225] = [w:SD1449];

```

```

//iQSS バックアップ件数
switch([w:GD56201])
{
    case 1:                //AnyWireASLINK
        if([w:GD54087] >= 100)
        {
            [w:GD54087] = 100;
        }else{
            [w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
        }
        break;

    case 2:                //CC-Link
        if([w:GD54088] >= 100)
        {
            [w:GD54088] = 100;
        }else{
            [w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
        }
        break;

    case 3:                //Ethernet
        if([w:GD54089] >= 100)
        {
            [w:GD54089] = 100;
        }else{
            [w:GD54089] = [w:GD54089] + 1;
        }
        break;
}

//レシピへ保存します
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}

if([w:SD1452] != 0)
{
    if([w:SD1452] == 16894)
    {
        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
        [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ
    }else{
        [w:GD54006] = [w:SD1452]; //バックアップ失敗メッセージ
        [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ
    }
}
else{
    if([w:SD1453] != 0)
    {
        [w:GD54006] = [w:SD1453]; //バックアップ失敗メッセージ
        [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ
    }else{
        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ

```

<pre> [w:GD65007] = 30101;//通知ダイアログ } } set([b:GB54009]); } </pre>			
スクリプト No.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5
<pre> //レシピの読み出しトリガを OFF します。 if([w:GD54013] == 30001) { rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ }else{ rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ } rst([b:GD54012.b5]); </pre>			
スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> //各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD65001] = 0; [w:GD65004] = 0; [w:GD65007] = 0; </pre>			
スクリプト No.	30023	スクリプト名	Script30023
コメント	B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54002
<pre> //iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。 set([b:SM1442]); //iQSS バックアップ/リストア中止要求 rst([b:GB54002]); </pre>			

ベース画面 30104

スクリプト No.	30014	スクリプト名	Script30014
コメント	B-30104 iQSS リストア設定確認		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54005
<pre> //iQSS バックアップの内容を確認します。 [w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003]; bmov([w:GD56200[w:TMP0000]], [w:GD54043], 20); //対象機種に応じて、表示するスーパーインポーズウィンドウを選択します。 switch([w:GD56201[w:TMP0000]]) { case 1: [w:GD65016] = 30116; //AnyWireASLINK break; </pre>			

```

        case 2:          [w:GD65016] = 30117;      //CC-Link
                        break;

        case 3:          [w:GD65016] = 30118;      //Ethernet
                        break;

        default:         break;
}

```

```
[w:GD65000] = 30105;
```

```
rst([b:GB54005]);
```

スクリプト No.	30016	スクリプト名	Script30016
コメント	B-30104 データ削除		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54006

//iQSS バックアップ履歴一覧から、指定されたデータを削除後、一覧を前詰めにします。

//全件削除、または指定範囲の削除かをチェックします。

```
if([b:GB54012] == OFF)
```

```
{
```

```
    //データが選択されているかをチェックします。
```

```
    if([w:GD54002] != 0)
```

```
    {
```

```
        //オフセット
```

```
        [w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003];
```

```
        //コピー元のオフセット
```

```
        [w:TMP0001] = (([w:GD54008] + 1) * 27) + [w:GD54003];
```

```
        //選択した箇所にバックアップデータがない場合は、処理しません。
```

```
        if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0)
```

```
        {
```

```
            //バックアップ件数を減らします。
```

```
            if((([w:GD56223[w:TMP0000]] != 0) && ([w:GD56223[w:TMP0000]] ==
```

```
[w:GD56224[w:TMP0000]]))
```

```
            {
```

```
                switch([w:GD56201[w:TMP0000]])
```

```
                {
```

```
                    case 1:          //AnyWireASLINK
```

```
                        if([w:GD54087] > 0)
```

```
                        {
```

```
                            [w:GD54087] =
```

```
[w:GD54087] - 1;
```

```
                        }else{
```

```
                            [w:GD54087] = 0;
```

```
                        }
```

```
                        break;
```

```
                    case 2:          //CC-Link
```

```
                        if([w:GD54088] > 0)
```

```
                        {
```

```
                            [w:GD54088] =
```

```
[w:GD54088] - 1;
```

```
                        }else{
```

```

[w:GD54088] = 0;
    }
    break;

    case 3:        //Ethernet
        if([w:GD54089] > 0)
        {
            [w:GD54089] =
[w:GD54089] - 1;
        }
        }else{
            [w:GD54089] = 0;
        }
        break;

    default:        break;
}

}

//処理を繰り返す回数を算出します。
[w:TMP0003] = [w:TMP0000] / 27;
if([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2) || ([w:GD54075] == 3))
{
    //ASLINK or CC-Link or Ethernet 専用画面
    [w:TMP0002] = 99;
}else{
    //汎用画面
    [w:TMP0002] = 299;
}

while([w:TMP0003] <= [w:TMP0002])
{
    if([w:TMP0003] != [w:TMP0002])
    {
        //データを上書きします。

        bmov([w:GD56200[w:TMP0001]], [w:GD56200[w:TMP0000]], 27);
        //No.は現在の No.に合わせます。ただし、No.が 0 以下のとき
        は 0 で固定です。

        if([w:GD56200[w:TMP0000]] > 0)
        {
            [w:GD56200[w:TMP0000]] =
[w:GD56200[w:TMP0000]] - 1;
        }
        }else{
            [w:GD56200[w:TMP0000]] = 0;
        }

        //オフセットを加算します。
        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;
        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 27;

        //カウントを加算します。
        [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
    }else{
        //最後のデータは 0 にします。

```

```

[w:TMP0004] = 0;

if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2) || ([w:GD54075]
== 3))

{
    //ASLINK or CC-Link or Ethernet 専用画面
    fmov([w:TMP0004],[w:GD58873],27);
}else{
    //汎用画面
    fmov([w:TMP0004],[w:GD64273],27);
}
[w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;

//カウントを加算します。
[w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
}

}

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ

}else{
    [w:GD54006] = 32012;
    [w:GD65007] = 30101;
}

}else{
    [w:GD54006] = 32012;
    [w:GD65007] = 30101;
}

}else{

//全件削除
[w:TMP0000] = 0;
fmov([w:TMP0000],[w:GD56200],8100);

//バックアップ件数クリア
//AnyWireASLINK
[w:GD54087] = 0;
//CC-Link
[w:GD54088] = 0;
//Ethernet
[w:GD54089] = 0;

//レシピへ保存します。
[w:GD54091] = 1; //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}
rst([b:GB54006]);

```

スクリプト No.	30007	スクリプト名	Script30007
コメント	レシピトリガ OFF		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GD54012.b5

//レシピの読み出しトリガを OFF します。

```
if([w:GD54013] == 30001)
{
    rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ
}else{
    rst([b:GB54019]); //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}
```

rst([b:GD54012.b5]);

スクリプト No.	30019	スクリプト名	Script30019
コメント	B-30104 リストア前処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54002

//設定された内容をシーケンサのデバイスへ転送します。

//オフセットを算出

[w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003];

//対象機種が 0 の場合は、設定が入っていないのでリストアしません。

if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0)

```
{
    //正常終了していないバックアップからは、リストアしません。
    if((([w:GD56223[w:TMP0000]] != 0) && ([w:GD56223[w:TMP0000]] == [w:GD56224[w:TMP0000]])))
    {
```

 //設定名称

 bmov([w:GD56202[w:TMP0000]], [w:GD54045], 24);

 //対象機器コメント表示

 [w:GD54016] = [w:GD56201[w:TMP0000]];

 //SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定

 [w:SD1437] = ((([w:GD56216[w:TMP0000]] & 0x00FF) << 8) + ([w:GD56201[w:TMP0000]] & 0x00FF));

 //SD1438:iQSS バックアップ/リストア対象フォルダ番号

 [w:SD1438] = [w:GD56214[w:TMP0000]];

 //SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)

 [w:SD1439] = [w:GD56215[w:TMP0000]];

 //SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:局番、Ethernet:IP アドレス(下位 16 ビット))

 [w:SD1440] = [w:GD56217[w:TMP0000]];

 //SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:サブ局番、Ethernet:IP アドレス(上位 16 ビット))

 [w:SD1441] = [w:GD56218[w:TMP0000]];

 //SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定

 [w:SD1444] = [w:GD56219[w:TMP0000]];

 //iQSS バックアップ使用権が取得されていれば、バックアップを開始します。

 if((([b:GB54004] == ON) && ([w:SD1446] == 0x0001)))

```
{
```



```
[w:GD65004] = 0;  
[w:GD65007] = 0;
```

ベース画面 30106

スクリプト No.	30013	スクリプト名	Script30013
コメント	B-30103,30106 画面起動時動作		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 GB40
//画面起動時に各種設定を行います。 //画面表示時のみ起動します。 if([b:GB54008] == OFF) { //バックアップ実施日時 [w:GD54040] = [w:GS650]; [w:GD54041] = [w:GS651]; [w:GD54042] = [w:GS652]; set([b:GB54008]); } }			
スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	B-30106 正常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1440
//iQSS リストアの正常終了時の処理です。 if([b:GB54009] == OFF) { if([b:SM1442] == ON) { [w:GD54006] = 32005; //iQSS リストア中断 }else{ [w:GD54006] = 32003; //iQSS リストア正常完了 } [w:GD65007]=30101; //通知ダイアログ表示 set([b:GB54009]); } }			
スクリプト No.	30004	スクリプト名	Script30004
コメント	B-30106 異常終了		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	ON 中 SM1441
//iQSS リストアの異常終了時の処理です。 if([b:GB54009] == OFF) { if([w:SD1452] != 0) { if([w:SD1452] == 16894) { [w:GD54006] = 32004; //リストア失敗メッセージ [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ }else{ [w:GD54006] = [w:SD1452]; //リストア失敗メッセージ [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ } } }else{ }			

<pre> if([w:SD1453] != 0) { [w:GD54006] = [w:SD1453]; //リストア失敗メッセージ [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ }else{ [w:GD54006] = 32004; //リストア失敗メッセージ [w:GD65007] = 30101; //通知ダイアログ } } set([b:GB54009]); } </pre>			
スクリプト No.	30023	スクリプト名	Script30023
コメント	B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB54002
<pre> //iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。 set([b:SM1442]); //iQSS バックアップ/リストア中止要求 rst([b:GB54002]); </pre>			
スクリプト No.	30017	スクリプト名	Script30017
コメント	画面切替時処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> //各種フラグのクリアをします。 rst([b:GB54008]); rst([b:GB54009]); //オーバーラップウィンドウを閉じます。 [w:GD65001] = 0; [w:GD65004] = 0; [w:GD65007] = 0; </pre>			

4.7.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30101

オブジェクト	ワードランプ		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時
<pre> //コメントを表示するためのスクリプトです if([w:GD54101[w:GD54001]] != 0) { [w:GD54076] = ([w:GD54101[w:GD54001]] * 10) + \$\$; }else{ [w:GD54076] = 0; } </pre>			

上記のスクリプトが、「実行単位」の全てのワードランプに設定しています。ただし、デバイスは各オブジェクトで異なります。

ウィンドウ画面 30001

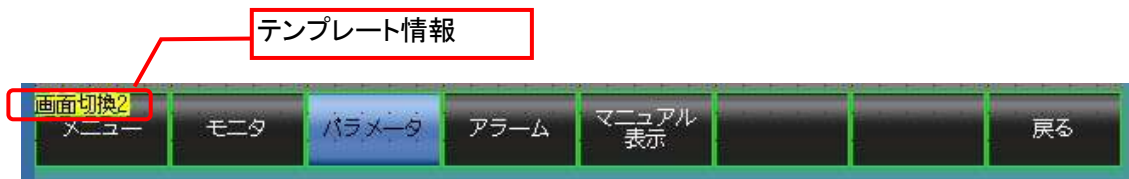
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre> //時計データより今日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000; //設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 </pre>			

[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ			
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得			
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD→BIN			
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット			
[w:GD65190] = [w:TMP973];//年をセット			
[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得			
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ			
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得			
[w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット			
[w:GD65191] = [w:TMP974];//月をセット			
[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得			
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ			
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得			
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD→BIN			
[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット			
[w:GD65192] = [w:TMP975];//日をセット			
[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得			
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ			
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得			
[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット			
[w:GD65193] = [w:TMP976];//時をセット			
[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得			
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ			
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得			
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD→BIN			
[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット			
[w:GD65194] = [w:TMP977];//分をセット			
[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得			
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ			
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD→BIN			
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得			
[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット			
[w:GD65195] = [w:TMP978];//秒をセット			
オブジェクト		数値表示	
スクリプトユーザ ID		2	
データ形式		符号なし BIN16	トリガ種別 常時
//BIN -> BCD 変換			
[w:TMP979] = [w:GD65190] - 2000; // 年の下 2 桁			
[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);		//年 BIN -> BCD	
[w:TMP981] = (([w:GD65191] / 10) << 4) + ([w:GD65191] % 10);		//月 BIN -> BCD	
[w:TMP982] = (([w:GD65192] / 10) << 4) + ([w:GD65192] % 10);		//日 BIN -> BCD	
[w:TMP983] = (([w:GD65193] / 10) << 4) + ([w:GD65193] % 10);		//時 BIN -> BCD	

[w:TMP984] = (([w:GD65194] / 10) << 4) + ([w:GD65194] % 10); //分 BIN -> BCD			
[w:TMP985] = (([w:GD65195] / 10) << 4) + ([w:GD65195] % 10); //秒 BIN -> BCD			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//年月設定			
[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; //変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//日時設定			
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; //変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; //変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト	数値表示		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//曜日設定			
[w:TMP986] = [w:GD65190]; //年(BIN)			
[w:TMP987] = [w:GD65191]; //月(BIN)			
[w:TMP988] = [w:GD65192]; //日(BIN)			
if((([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2)))/(//1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理			
[w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算			
[w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に 12 を加算			
}			
[w:TMP989] = [w:TMP986]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット			
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;			

5. テンプレート

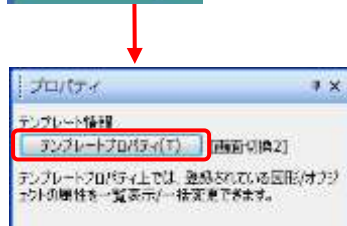
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

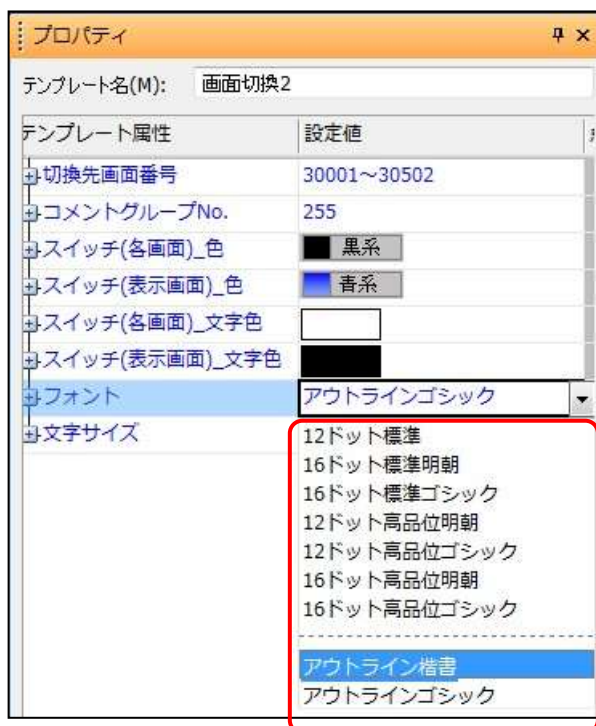
例: フォントを変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択



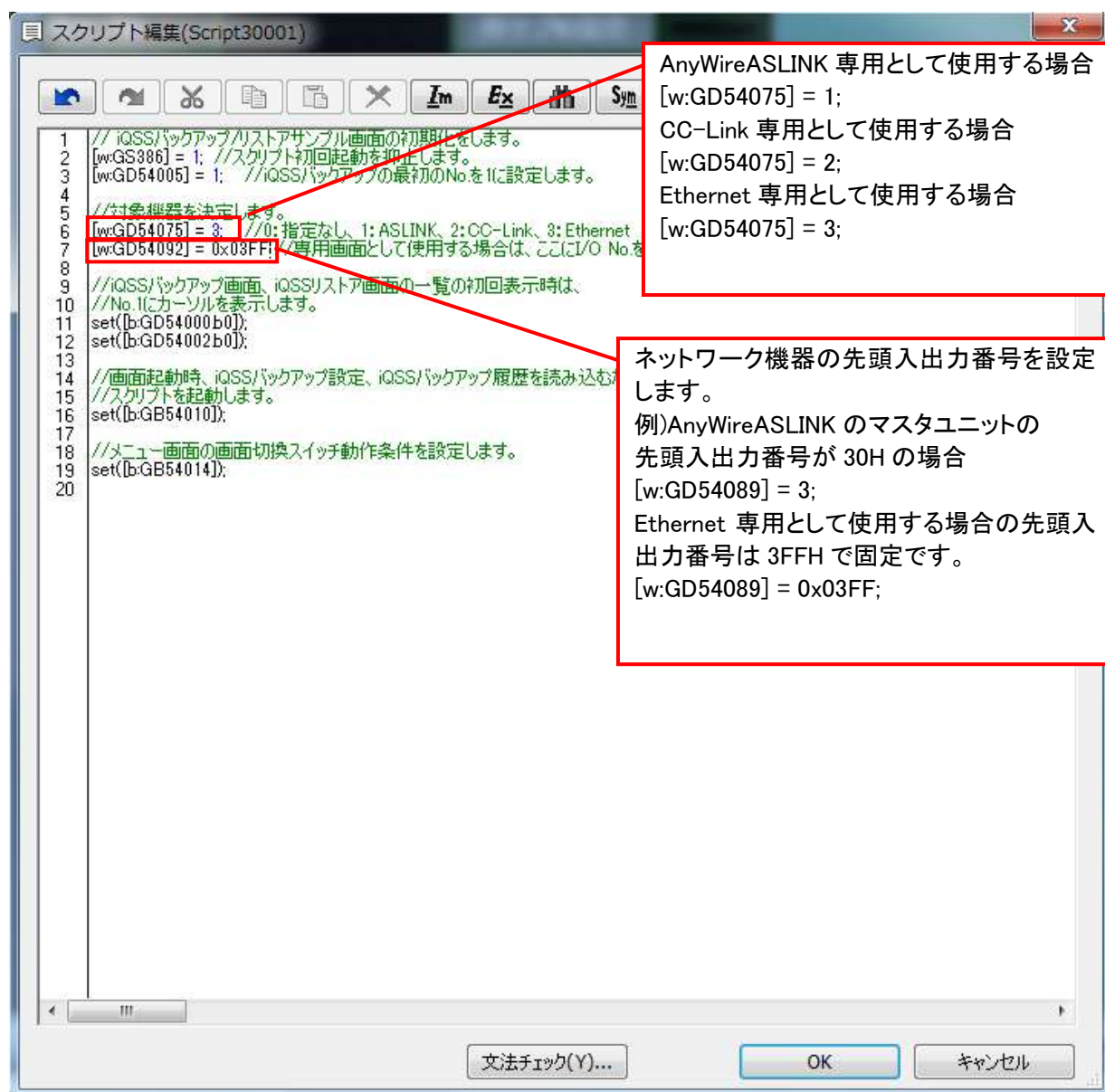
6. その他

6.1 システム構成の変更

AnyWireASLINK、CC-Link、Ethernet の各ネットワークに対応していますが、以下の修正により、AnyWireASLINK 専用、または CC-Link 専用、または Ethernet 専用のサンプル画面として使用することもできます。

6.1.1 プロジェクトスクリプトを変更する

プロジェクトスクリプト(スクリプト No.30001)を、下図のとおり修正します。



6.1.2 画面を変更する

iQSS バックアップ設定画面(B-.30102)を、下図のとおり修正します。

- AnyWireASLINK 専用の場合

iQSSバックアップ設定 2013/08/26 08:54

No. 123			
設定名称	ABCDEFGH I JKLMNOP		
対象機種	AnyWireASLINK		
実行単位	ID	全ID	ID指定
	ユニットタイプ	出力	入力/混合
フォルダ番号	自動		
I/O	123		
エラー時動作設定	続行 停止		
登録		戻る	

CC-Link、Ethernet のスイッチを削除します。

- CC-Link 専用の場合

iQSSバックアップ設定 2013/08/26 08:54

No. 123			
設定名称	ABCDEFGH I JKLMNOP		
対象機種	CC-Link		
実行単位	ID	全ID	ID指定
	ユニットタイプ	出力	入力/混合
フォルダ番号	自動		
I/O	123		
エラー時動作設定	続行 停止		
登録		戻る	

AnyWireASLINK、Ethernet のスイッチを削除します。
CC-Link のスイッチの位置を修正します。

- Ethernet 専用の場合

iQSS/バックアップ設定

2013/08/26 08:54

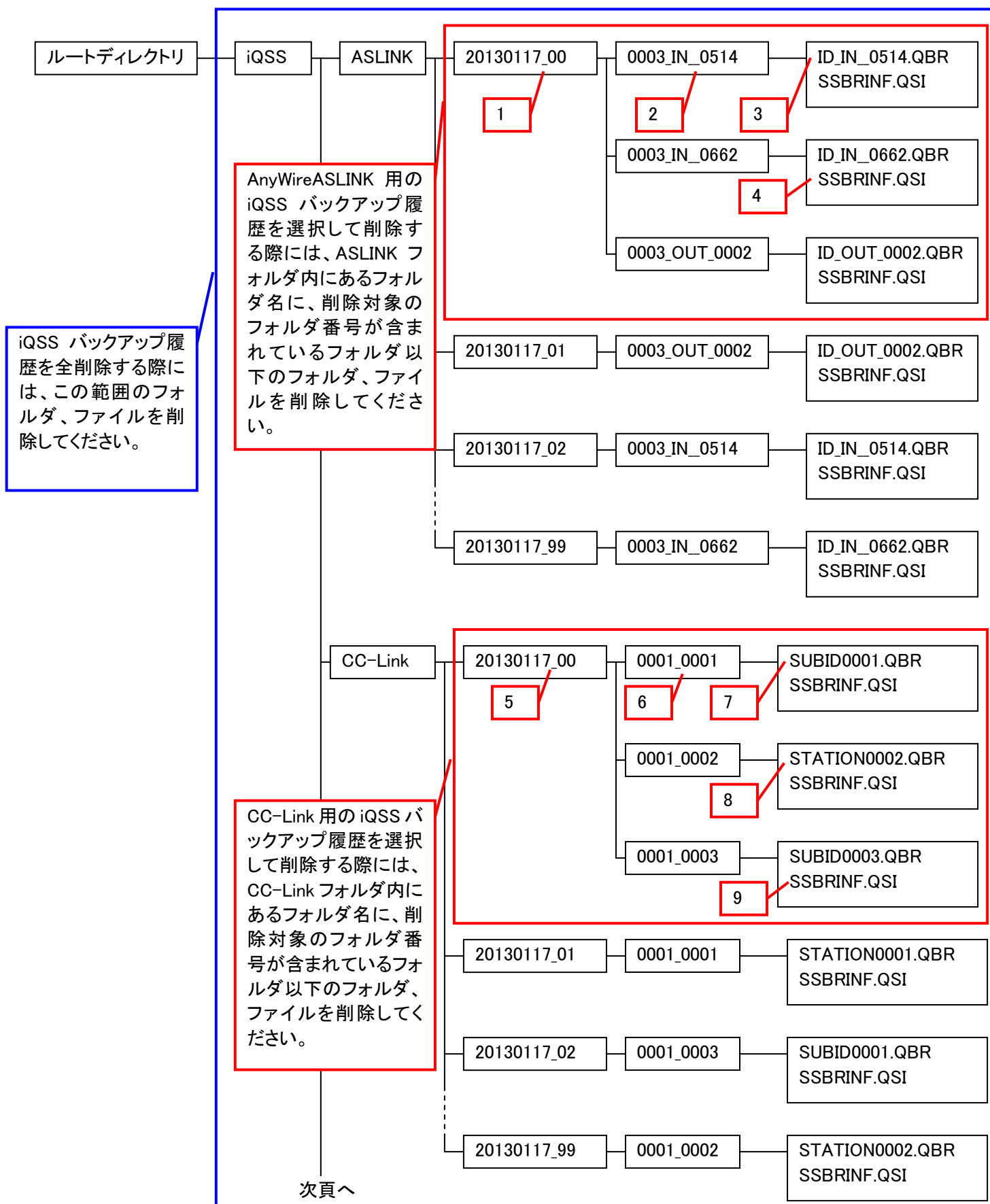
No. 123			
設定名称	ABCDEFGH I JKLMNOP		
対象機種	Ethernet		
実行単位	ID	全ID	ID指定
	ユニットタイプ	出力	入力/混合
フォルダ番号	自動		
I/O	123		
エラー時動作設定	続行	停止	
<div>登録</div> <div>戻る</div>			

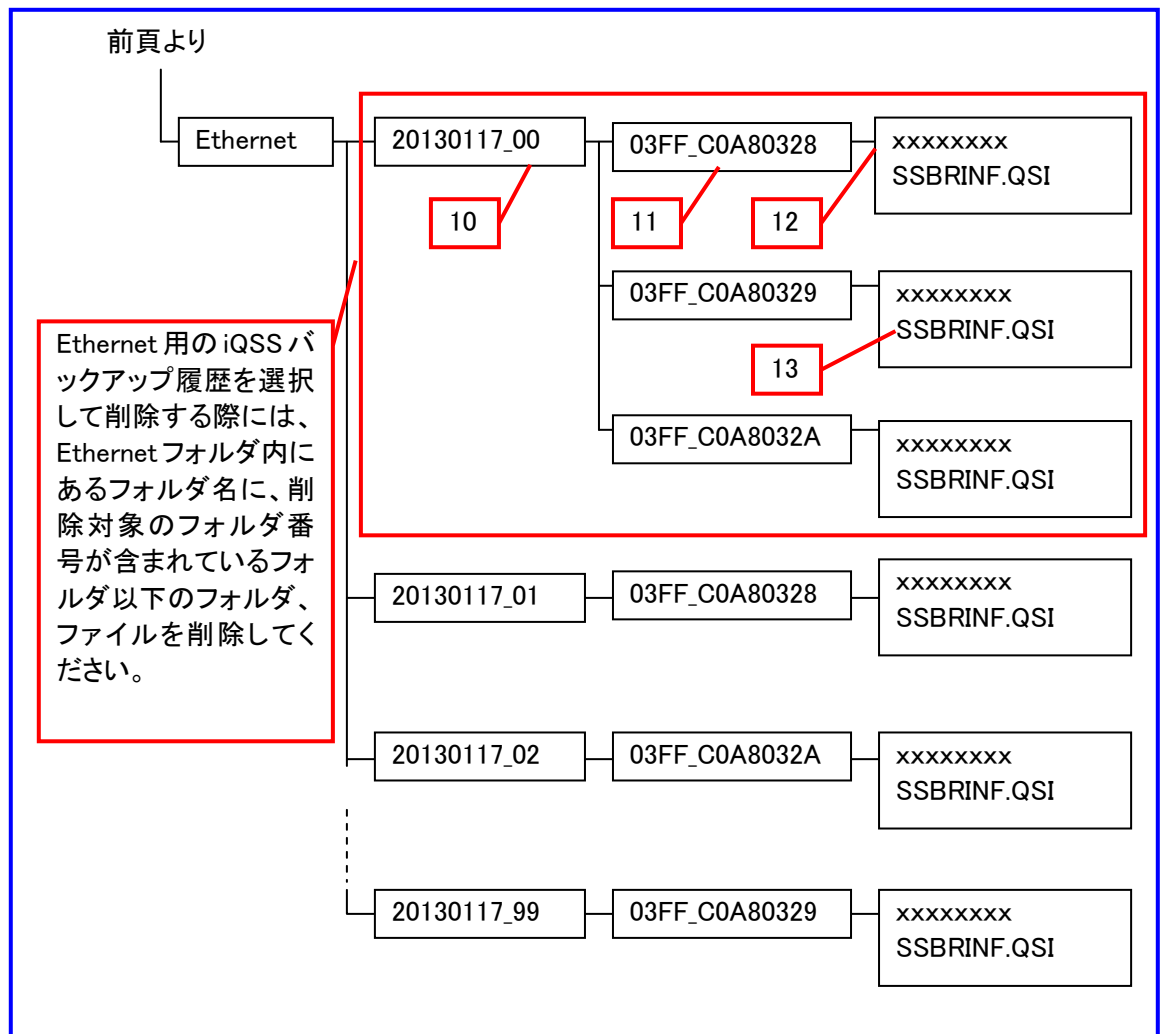
AnyWireASLINK、CC-Link のスイッチを削除します。
Ethernet のスイッチの位置を修正します。

6.2 iQSS バックアップフォルダ構成

6.2.1 フォルダ構成

シーケンサへ装着した SD カード内の iQSS バックアップフォルダ構成は、下記のようになります。表中の 1～13 については、「6.2.2 フォルダ名、ファイル名詳細」を参照してください。





6.2.2 フォルダ名、ファイル名詳細

(1) AnyWireASLINK

1. 20130117 _ 00 ... バックアップフォルダ名(日付、フォルダ番号)
番号(2桁(00~99(10進)))
バックアップした日付(YYYYMMDD)
2. 0003 _ IN _ 0514 ... バックアップフォルダ名(I/O No., ID)
ID番号(4桁(10進)) *1
IN_: 入力/混合スレーブユニット
OUT: 出力スレーブユニット
I/O No.(4桁(16進))
3. ID _ IN _ 0514.QBR ... バックアップファイル名
ID番号(4桁(10進)) *1
IN_: 入力/混合スレーブユニット
OUT: 出力スレーブユニット
4. SSBRINF.QSI ... システムファイル

*1: AnyWireASLINKの入力/混合スレーブユニットのID番号は、ユニット本体側に割付けられたID番号+512の番号で管理されます。そのため、入力/混合スレーブユニット用のバックアップフォルダ名の末尾には、管理番号 512~766 が付加されます。

(2) CC-Link

5. 20130117 _ 00 ... バックアップフォルダ名(日付、フォルダ番号)
番号(2桁(00~99(10進)))
バックアップした日付(YYYYMMDD)
6. 0001 _ 0001 ... バックアップフォルダ名(I/O No., 局番)
局番(4桁(10進))
I/O No.(4桁(16進))
7. SUBID0001.QBR ... バックアップファイル名(局サブID=iQSS対応センサ時)
局サブID(4桁(10進))
8. STATION0002.QBR ... バックアップファイル名(局=iQSS対応センサ時)
局番(4桁(10進))
9. SSBRINF.QSI ... システムファイル

(3) Ethernet

10. 20130117 _ 00 ... バックアップフォルダ名(日付、フォルダ番号)

番号(2桁(00~99(10進)))
バックアップした日付(YYYYMMDD)

11. 03FF _ C0A80328 ... バックアップフォルダ名(対象ユニット、IP アドレス)

IP アドレス(8桁(16進)) *1
対象ユニット(4桁(16進))(03FFH: 内蔵 Ethernet)

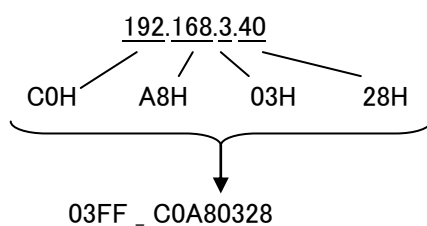
12. xxxxxxxx ... バックアップフォルダ/ファイル名 *2

各 IP アドレスの iQSS 対応機器内でのフォルダ名/ファイル名

13. SSBRINF.QSI ... システムファイル

*1: フォルダ名は以下の構成になっています。

例: iQSS 対応機器の IP アドレスが 192.168.3.40 の場合



*2: IP アドレスごとのフォルダには、iQSS 対応機器内のフォルダ名やファイル名でバックアップデータが格納されます。